

タウントーク

あなたの街で

市長と語ろう！



タウントークに関するお問い合わせは、区役所（12階）の総務企画課か市民の声を聞く課☎211-2042へ。

詳しくは、市長のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からもご覧いただけます。

なお、次回のタウントークは、9月に中央区、西区で開催します。



豊平区タウントーク
「札幌を元気にするのは、スポーツの力！」

東月寒地区町内会 連合会会長・西條さん

子供たちがスポーツを楽しめるよう、雪中運動会などを開催しています。今後、スポーツ教室などを通じて、ファイターズやコンサドーレの選手と交流する機会があれば、子供たちに大きな夢を与えることができると考えています。

◆市長から

少年野球の全国大会を「北の甲子園」と称して、札幌ドームで開催してはどうかという話が持ち上がっています。全国からこのドームに注目が集まるのは素晴らしいこと。また、こうした時代、大人が子供たちに幅広い交流の場を設けていくことは、本当に大切だと思います。そうしたコミュニケーションを通じて、子供たちは心の豊かさをはぐくんでいくのですから。

スポーツ都市・札幌の活動拠点の一つとして、ワールドカップサッカー大会の舞台にもなった札幌ドーム。六月二十八日の豊平区タウントークは、「スポーツを通じたまちづくり」をテーマに、区の顔でもあるドームの会議室で開催されました。

タウントーク終了後、市長は、今年から北海道に本拠地を移転した北海道日本ハムファイターズの試合を観戦。スタンドを埋める市民とともに、選手たちの活躍に声援を送りました。

◆市長から

私も体を動かすために、市役所庁舎の10階まで階段を上ったりしていますが、この恵まれた自然の中を歩いたら最高ですね。要望については、周辺住民の皆さんが地域のまちづくりを進める中で出てきた声として、関係する国の機関に伝えていくとよいのでは。そうした視点で協力をお願いしていくことが大切だと思います。

福住地区町内会

連合会会長・杉本さん

札幌ドームや羊ヶ丘は地域の象徴。住民は自分の庭のように愛着を持っています。そこで、ドームと自然を結ぶ散歩コースを設けてもらえれば、地元で維持管理に協力したいと考えています。

◆市長から

ファイターズについては、負けたからすぐに離れるというのではなく、みんなが「頑張れ」と言える、そんな温かなまちにもしていきましょう。

豊平区少年軟式

野球連盟副会長・中山さん

子供たちが野球やサッカーを伸び伸びとできる広場を増やす一方、地元の応援でファイターズが強くなって、札幌ドームだけでなく、周辺を含めたスポーツタウンとして街が発展していくことを望んでいます。

